

教会史Ⅱ：「宗教改革から現代まで」

大阪聖書学院・福音聖書神学校2023年度 前後期（通年）

クラス日/木曜 午前10：10～12：00

教師：藤井義生

連絡先 090-6759-9378（携帯）

yosiomegumi@gmail.com（メールアドレス）

A コースの形態

対面（大阪聖書学院：旭区中宮 4-2-11）＋ズーム のハイブリッド
ズーム情報は後日連絡する。

B コースの概要

本クラスでは宗教改革から21世紀までのキリスト教のストーリーから学ぶ。

C コースの目的

このコースを取ることによって生徒は次のことができるようになる。

1. 地上の神の民として、過去の教会の成功と失敗から謙虚に学ぶ。
2. 他者（カトリック、英国国教会、正教会、改革派、ルター派、再洗礼派、メソジスト派、バプテテスト派、キリストの教会、ペンテコステ派など）を理解し、対話できるようになる。
3. 所属する地方教会の教会政治、聖礼典、礼拝（讃美歌、新聖歌）、宣教方法、の特色と意義を深く理解し、所属教会への愛と献身を深める。

D 関連のある他のクラス

- 教会史Ⅰ（初代教会～中世）
- 教会史Ⅲ（キリストの教会の歴史：17世紀の宗教戦争、18世紀の合理主義、そして19世紀以降のアメリカ教会史）→ 大阪聖書学院オリジナルカリキュラム
- 教会史Ⅳ（日本キリスト教史） → 大阪聖書学院オリジナルカリキュラム

E テキスト

- 1 毎回授業で使用するもの
「キリスト教史 下巻 **増補新版**」フスト・ゴンサレス著（新教出版社）**2020年**
- 2 参考文献
「マルチン・ルター：言葉に生きた改革者」徳善義和著（岩波新書）2012年
「キリスト教文書資料集」H. ベッテンソン著（聖書図書刊行会）1962年
「キリスト教神学入門」A・E・マクグラス著（教文館）2002年
「宗教改革の思想」A・E・マクグラス著（教文館）2000年

F コースの課題

試験は行わない。すべてレポートとする。

提出は、以下の課題を参加者全員にメール配信する。（Word文書 A4 12ポイント、発表の前日 午後6時まで）

- 1 前期中間レポート（20%）
以下に掲げるリストの中から、テーマを一つ選び概要とコメントをする。尚、独自のテーマを選んで良い。（A4 2ページ）

エラスムス、人文主義、中世の大学、マルティン・ルター、教皇レオ10世、贖宥状、ツヴィングリ、ジャン・カルヴァン、キリスト教綱要、メノーシモンズ、十字架の神学、グーテンベルクの印刷技術、

2 前期期末レポート（20%）

以下に掲げるリストの中から、テーマを一つ選び概要とコメントをする。尚、独自のテーマを選んでも良い。（A4 2ページ）

ヘンリー八世、エリザベス一世、ジョン・ノックス、カール五世、オランジェ公ウィレム、ユグノー、カトリーヌ・ド・メディシス、聖バルテルミー祝日の虐殺、イサベル一世、異端審問、聖テレサ、イグナティウス・ロヨラ、トリエント公会議

3 後期中間レポート（20%）

以下に掲げるリストの中から、テーマを一つ選び概要とコメントをする。尚、独自のテーマを選んでも良い。（A4 2ページ）

ワルドー派、ハプスブルク家、フィリップ・メランヒトン、アルミニウス主義、ウェストミンスター信仰告白、ジョージ・フォックス、ファシズム、フランス革命、シモン・ポリヴァル、ロシア正教会、シュライエルマッハー、キルケゴール、第一ヴァチカン公会議、ピウス12世、第二ヴァチカン公会議、ウィリアム・ケアリ、フランシスコ・ザビエル、エキュメニカル運動、ディードリヒ・ボンハッファー、カール・バルト、ルドルフ・ブルトマン、エミール・ブルンナー、ラテンアメリカ司教会議（CELAM）、解放の神学、ヨハネ・パウロ2世、

4 後期期末レポート（20%）

所属教会の開拓宣教師（牧師）研究（A4 3ページ）

所属教会の資料（記念誌、総会資料、週報）を調査し、研究する。1名以上にインタビューする。（知っている人が誰もいない場合はこの限りではない）レポートの構成は、①人物略歴、②働き、③研究者が人物から学んだこと、とする。研究対象が学生間で重複する場合は、他の人物を調査しても良い。

5 授業参加度 全回（20%）

出欠席、机・椅子並べ、ホワイトボード・プロジェクターの準備、質問、傾聴、簡潔明瞭な発言、生徒間の対話を評価します。

Gコースの評価

大阪聖書学院、福音聖書神学校の各評価基準による。

Hスケジュール（予定変更有り）

前期

- 4月13日（木）オリエンテーション／導入 1章 宗教改革を求めて
- 20日（木）2章 マルティン・ルター 改革への巡礼
- 27日（木）3章 不確かな十年間

5月 4日（木、祝）休校日

- 11日（木）4章 ルターの神学
- 18日（木）5章 ウルリヒ・ウヴィングリとスイスの宗教改革
- 25日（木）6章 急進改革派運動

6月 1日(木) 7章 ジャン・カルヴァン
8日(木) 前期中間試験日 レポート発表
15日(木) 休講 MB 牧師研修会
22日(木) 8章 グレートブリテンの宗教改革
29日(木) 9章 ルター主義のその後の展開

7月 6日(木) 10章 低地地方の宗教改革
13日(木) 11章 フランスのプロテスタント主義

7月15日(土) ~9月11日(月) 夏期休暇期間

9月14日(木) 12章 カトリック宗教改革
21日(木) 前期期末試験日 レポート発表

9月26日(火) ~29日(金) 休講期間

後期

10月 5日(木) 休講 MB 牧師会
12日(木) 13章 危機的状況の中でのプロテスタント主義
14章 激動の時代
19日(木) 21章 改革派正統主義
26日(木) 26章 「キリスト教世界」を超えて行く時代へ

11月 2日(木、祝) たねまき会(大阪聖書学院)のため休講
9日(木) 28章 変わりゆく世界—西ヨーロッパ
16日(木) 29章 変わりゆく世界—ラテンアメリカ
23日(木) 祝日
30日(木) 後期中間試験日 レポート発表3

12月 7日(木) 30章 変わりゆく世界—東方教会

12月9日(土) ~1月8日(月、祝) 冬期休暇期間

1月11日(木) 31章 プロテスタント神学
18日(木) 32章 近代社会と対峙するカトリック教会
25日(木) 33章 地理的拡張

2月 1日(木) 34章 ローマ・カトリック教会
8日(木) 35章 「中心での危機」—ヨーロッパのプロテスタント教会

15日(木) 後期期末試験日 レポート発表4

22日(木) 37章 周縁とされてきた世界の活力

29日(木) 38章 エピローグ *必要に応じて、補講を行う可能性がwあります。